

英語力等に関する実務経験

1. 研究・教育の実務経験		実務の詳細
1	海外の大学や研究機関での指導および研究歴	共同研究者や学生と日常的に英語でディスカッションを行い、論文は英語で執筆・査読できる
2	国際共同研究の国内責任者・担当者	海外の研究者と日常的に英語でメール、Web会議、論文執筆を行った経験
3	英語による講義・セミナーの担当実績	大学や大学院にて、留学生向けプログラムなどで英語で講義（シラバス作成含む）を行った経験
4	海外からの招聘研究員の受け入れ・共同研究	ホスト研究者として、日常的な研究支援やディスカッションを英語で行った実績
5	査読付き国際学術誌（英文誌）の編集者（エディター）等	投稿論文の選定、査読者との英語での交渉、採否判定の日常的な実務
6	著名な国際学術誌での査読実績（多数）	日常的に英文論文を精読し、英語で査読レポートを作成・提出している実績
7	国際学会のフェロー	当該分野の権威として世界中の研究者と基調講演やパネルディスカッションを通じて議論する
8	国際学会・国際シンポジウムの実行委員長やセッション座長	プログラム編成、海外演者との交渉、当日の英語進行を統括した実績
9	国際学会での招待講演	単なる一般発表ではなく、推薦を受けて英語で講演を行った実績
10	国際学会のプログラム委員会の委員	査読プロセスの管理やセッション構成の決定を英語で行った経験
11	国際的な組織の理事会役員・幹部	異なる背景を持つ世界各国の代表者と英語で組織の重要事項を直接議論し意見の調整を行う
12	国際的な組織の委員会委員	国際的なガイドラインや政策を英語で策定する
13	公的機関、国際NGO・NPO等での専門家としての活動・アドバイザー歴	グローバルな課題に対して英語で提言やプロジェクト管理を行った経験
14	外資系企業や海外法人のリサーチディレクター、シニア研究員	日常の業務報告、部下のマネジメント、本社との連携をすべて英語で行った実務経験
2. 職務上の実務経験		
1	公的機関の専門職（例：厚労省で看護技官としての実務）	政策および意思決定の場での実務経験